

# いちばんぼし☆

第1学年  
学年日より  
NO.13  
H28.10.3

## わくわくオーケストラに行ってきました!

### みんなの感想

～一部抜粋～



●指揮者はとてもカッコよかった。ティンパニを弾いている人は、手の動きがすごく速かった。弦楽器や木管金管楽器、打楽器など、いろいろな楽器があった。シンバルで強弱を付けるのは難しそうだったけど、しっかり強弱がついてわかりやすかった。僕らも、合唱コンクールでしっかり声を出して頑張ろうと思った。1組♂S

●音の強弱。団体でそろそろ音。その曲のメロディーがすごく伝わってきました。悲しい時は小さくゆっくり。団結してみんなで困難を乗り越えていく時には、ハキハキしたメロディ。言葉無しでものを訴えることができる音楽の力はすごいと思いました。1組♂H

●私はミュージカルが好きで見たことはあったけど、オーケストラは初めてでした。ミュージカルと違って、楽器で物語を表現しているところが面白かったです。フィンランディアという曲が一番良かったです。ロシアに支配され落ち込んでいる人の様子が低音の楽器でよく伝わりました。『ふるさと』の演奏の時にチェロをクルンと回していたところも良かったです。1組♀Y

●小さい楽器や大きい楽器など、楽器の種類が思ったより多かった。指揮がとても上手だなと思った。音の強弱がしっかりしていたし、バイオリンは他の楽器がなくてもきれいな音を出していた。あっという間に音楽が終わったという感じがした。終わる時に、音がパッと消えたのがすごかった。1組♀S

●最初の楽器紹介での弦楽器の演奏がすごくきれいでした。楽器の数もたくさんあって、その楽器の音がひとつの合奏になるのはすごいと思いました。チャイコフスキーの第4楽章がすごいなと思いました。最後の「ふるさと」は会場にいる知らない学校の人たちがみんなで歌ってとても楽しかったです。アンコールでは手拍子しながら曲を聴いて、とてもステキなオーケストラだと思いました。2組♂Y

●自分は音楽が苦手で、楽器も全然知らなくて、興味を持っていなかった。でも、わくわくオーケストラに行って、笛を吹いたり打楽器を叩いたりして、すごく難しい曲ができあがって行って、すごいなと思いました。少ししか理解できなかったけど、興味を持つことができました。2組♂I

●オーケストラは初めてで、ビックリしたことが多かったです。思っていたより音が大きくてビックリしました。バイオリンは弓で弾くだけでなく、指ではじいて弾くこともあることを知りました。ひとつの楽器だけでなく、たくさんの楽器の音が集まってメロディーになるんだと思った。2組♀N

●普段は聴くことのできないオーケストラを聴くことができ良かったです。小さな音でもきれい

な音が出ていてすごいなと思いました。1種類の楽器だけでも音色はきれいだったけど、数種類の楽器の音の方がもっときれいでした。音が大きくなったり小さくなったり、テキパキしていてすごかったです。ホールはとってもすごい機能がたくさんありました。2組♀K

●テレビとかではたまにオーケストラを見るけど、生で見るとやっぱり迫力が違います。しかも、全員がしっかりと音を出しているから、小さなトライアングルの音でもちゃんと聞こえます。そこがいいと思います。ミスをしたらどうしようとか思わずに、一人ひとりが自信を持って演奏をしていたことがすごい!心もワクワクしてきました。これを生かして、合唱コンクールでは優勝したいです。3組♂I

●いろいろな楽器の音を聞いて楽しかったです。一番すごいなと思ったのは、会場の仕組みです。雷が鳴ったりしてすごくいいなと思い、感動しました。嵐の「ふるさと」を歌った時には眠気がすぐに飛んで、みんなで盛り上がりました。すごく楽しい気持ちで終わりました。3組♂T

●オーケストラを外国人もいたのにチームワークがすごいと思いました。楽器を演奏している時は、みんなとても楽しそうに演奏していました。オーケストラは、音をそろえてみんなで団結しないときれいな音楽にならないので、すごいなと思いました。自分もクラスのみみんなと団結して楽しいクラスにしたいなと思いました。3組♀I

●私はクラリネットの音がきれいだなと思いました。1番すごかったのは指揮者さんでした。強弱をつけたりちょっとした細かいところも全部表現していて、すごく練習しているのがわかりました。チューバの紹介の時に演奏していた曲は、体育大会のMr.Ms小田北の曲でした。わくわくオーケストラではあまり出来ない経験ができたのでうれしかったです。最後には、自分ができる最高の拍手で終わりました。3組♀S

●低音を出すコントラバスが、とてもカッコ良かったです。金管楽器の音色が、とてもきれいでした。「スイスの独立軍の行進」のように、曲と一緒にその曲の物語を知ることができて良かったです。最後の「ふるさと」は、オーケストラの人と他校の人たちと一緒に歌えて良かったです。4組♂M

●バイオリンを手ではじいて弾くことにはびっくりしました。しかも、とてもよい音でした。ティンパニとシンバルがかっこ良かったです。ティンパニは手の動きがすごかったです。途中、指揮者がいない時でもリズムがあっていたから、オーケストラってすごいなと思いました。4組♂H

●途中で寝てしまったけど、オーケストラの音色にはとても感動させられました。みんなで『ふるさと』を歌ったり、最後にはプログラムには載っていないアンコールの曲まで演奏してくれてすごうれしかったです。この経験を生かして、合唱コンクールをみんなの力で成功させたいなと思いました。4組♀S

●オーケストラはテレビでは何回か見たことありましたが、テレビとは全く違い、とても迫力がありました。指揮者や演奏している人はもちろんすごいのですが、もう一つすごいなと思ったのは、ホールの仕掛けです。音や光だけで、ホールの中を森にしたり嵐にしたりしていました。本当に森の中にいるような気分になりました。貴重な体験をさせてもらったと思います。4組♀K

はじめてオーケストラを聴くという人が多かったけど、聴いてみたらなかなかおもしろいものでした。ホールに出向いてオーケストラを聴く体験なんて、そうそうできません。楽器には個性があって、それぞれきれいな音色を奏でます。ひとつの楽器の演奏だけでも十分に素晴らしいものなのですが、そのひとつの楽器がたくさん集まって作られるメロディーには、わたしたちの魂を揺さぶる「何か」があります。それはいったい、何なのでしょう?これからわたしたちの学校生活をより良くしていくためのヒントが、わくわくオーケストラにはあったような気がします。オーケストラの美しく力強い音の連なりは、わたしたちの心の中に、いまでも静かに降り積もっています。



ひとつの「美しい音」だけでは

「オーケストラ」は作れません

キミたちは「自分」という楽器の演奏者

それぞれに「美しい音」を持っています

「クラス」「学年」「学校」というオーケストラの中で

あなたの「美しい音」と仲間の「美しい音」を

ひとつの「美しいハーモニー」に進化させるために

何が必要でしょうか

ワタシたちがワタシたちの

「美しいハーモニー」を奏でるためには・・・